

2024年2月4日に行われた臨時総会報告をすべての東京地域グループ会員のみなさまにお伝えするため、今号は前号に引き続きニュースレターの紙媒体送付停止手続き済みの方にもお送りしています。



大学図書館研究会東京地域グループニュースレター

<https://www.daitoken.com/tokyo/>

第262号 2024（令和6）年5月発行

目次

1. 2023/2024年度東京地域グループ例会	1
2. 2023/2024年度関東地域合同例会参加報告	2
3. 2023/2024年度臨時総会報告	3
4. 会費の振り込み忘れはありませんか？	3
5. 東京地域グループニュースレターの紙媒体の廃止について	4
6. 2023/2024年度第5～8回（1月～4月）東京地域グループ運営委員会記録	4

2023/2024年度東京地域グループ例会 東洋文庫ミュージアム見学会

今年度の見学会は、東洋文庫ミュージアムです。先日地域グループ会員のみなさまから募集した見学先より、運営委員会で選定させていただきました。

日曜日のためライブラリーの見学はありませんが、5月25日より新しい企画展「アジア人物伝」が始まりますので、これまでに訪れたことのある方もぜひご参加ください。

日 程：2024年6月2日（日）10:30-11:45（10:20現地集合）
場 所：〒113-0021 東京都文京区本駒込 2-28-21 <https://toyo-bunko.or.jp/museum/>
ア ク セ ス：駒込駅（JR 山手線・東京メトロ南北線 2 番出口）徒歩 8 分、
千石駅（都営地下鉄三田線 A4 番出口）徒歩 7 分 <https://toyo-bunko.or.jp/access/>
対 象：誰でも参加できます。
定 員：先着 25 名
参 加 費：東京地域グループ会員：無料
他地域グループ会員・非会員：入館料（900 円）
申 込 先：以下の申込フォームからお申し込みください。【申込〆切：5月26日（日）】
<https://forms.gle/Ao2FRKPUyprQskRW6>
問い合わせ：tokyo@daitoken.com（大学図書館研究会東京地域グループ）

2023/2024 年度関東地域合同例会参加報告

2024年2月4日(日)に、2023/2024年度関東地域グループ合同例会が開催されました。今回は、「アメリカの総合大学の目録部門(カタログ・デパートメント)について ～フロリダ大学を例に～」というタイトルで、アメリカで大学図書館等で勤務のご経験をお持ちの中野ひかる氏を講師にお迎えし、アメリカの総合大学図書館での勤務のご経験、アメリカの大学図書館のテニュア制度や、特に目録作成業務を中心にお話いただきました。本稿は、その開催報告と、個人的な感想です。

中野氏は、現在、関西学院千里国際中等部・高等部で司書教諭をされています。ご経歴は、フロリダ州立大学にて図書館学修士取得後、米国サウスウェストジョージア州(公立)図書館でチルドレンサービスライブラリアン、ピッツバーグ大学で日本語カタログ、フロリダ大学で多言語目録及びサブジェクトライブラリアンとして勤められ、2018年日本にご帰国されています。

中野氏は、PCCのメンバーだったピッツバーグ大学で最初に目録作成に携われました。PCC(Program for Cooperative Cataloging)は、米国議会図書館(LC)の共同目録プログラムで、1994年末に設立された図書館連合体です。

PCCでは、共同で目録を作成するメンバー館と、システムティックにクオリティコントロールを担うOCLCとの共同でデータベースが作成されており、典拠形アクセスポイントの整備が重要で、精密な質が求められる典拠レコードを共同で行うために5日に及ぶ研修が行われているなど、NACSIS-CATを中心とした日本の大学図書館のとの違いについてご紹介いただきました。典拠形アクセスポイントを共同作成するメリットとして、目録作業のコスト削減、灰色文献顕在化などがあり、作成にAI導入も検討されている、とのご説明がありました。

次に、フロリダ大学を例に、米国大学図書館のテニュア制度について、ご紹介いただきました。米国のテニュア制度についてのご紹介の後、米国の大学図書館司書とファカルティ・ステイタスとの関係について、大学が図書館の質の高い仕事を認めることで、図書館員に学術的または教員としての地位を与え、支援するようになったことが、日本と米国の大きな違いである、とのご紹介がありました。

具体的には、ACRLが公表する、昇進やテニュアに関するスタンダードのご紹介のあと、フロリダ大学図書館の目録作成部門の例として、実際の”Career Development Handbook”に触れながら、フロリダ大学図書館でテニュアを取得されたご経験についてご紹介いただきました。その中では、以下の3つの判断基準があり、

(判断基準 1)業務/職務、コミュニケーション能力

(判断基準 2)学術分野における業績、想像性

(判断基準 3)所属大学図書館、大学、州、業界への貢献度

ユニバーシティ・ライブラリアンに昇進するためには、業務エフォートの内の10%で、ファーストオーサーのピアレビュー論文を毎年1本以上出すことが求められるなど、図書館員の高い評価の裏には、厳しい評価があることが紹介されました。

米国大学図書館目録部門について、”Organization of Cataloging Units in Academic Libraries”という研究プロジェクトの成果をもとにご紹介いただきました。このプロジェクトは、2016年3月から4月にかけて行った大学図書館員に対するアンケートをもとに、大学のニーズに対し、大学図書館の目録部門がどのように変化していったかを分析したものです。プロフェッショナル・カタログ(ファカルティ)とパラ・プロフェッショナル・カタログとを比べた時、典拠レコードやオリジナルカタログの作成は、ファカルティが担うことが多いが、実際のところは、目録一筋何十年のようなパラ・プロフェッショナルの方が、エントリーレベルのファカルティなどよりはカタログルールに詳しい、といった実態も紹介されました。日本の職能資格制度と違って、アメリカではジョブディスクリプションに従って仕事をする職務等級制度が導入されている、といった違いが反映されているとのこと。その他この調査から、目録作業の外注化や、館長から目録担当までの組織構造の違いや、目録部門の階層の変化、目録担当者の新しいスキル(BIBFRAME、Linked Data…)などの紹介が

ありました。アメリカではデータキュレーションや、データマネジメント、メタデータを扱うことができる目録担当者が求められる傾向がある、とのことでした。

質疑応答では、典拠レコードについて米国と NACSIS-CAT との違い、人事評価について、日本に多い非正規雇用について米国との違い、などについて、参加者とのやりとりがありました。

最後に、中野氏から、現在学校図書館で勤務されており、大学図書館とのコラボレーションの必要性を述べられ、盛会のうちに終了いたしました。

(人間文化研究機構 小野 亘)

2023/2024 年度年度臨時総会報告

I. 開催日時：2024 年 2 月 4 日（日）15:15-16:00

II. 開催場所：オンライン（Zoom）

III. 出席者：小野、小林、下城、下山、高瀬、立原、南雲、野村、林、松原、山口（敬称略）

IV. 配布資料：大学図書館研究会東京地域グループ 2023/2024 年度臨時総会議案（事前配布）

https://www.daitoken.com/tokyo/document/agenda_202402.pdf

V. 議事進行：林

VI. 議事

1. 審議事項

1) 2024/2025 年度以降の地域グループ活動費について

山口東京地域グループ代表より、資料 1 に基づき 2024/2025 年度（2024 年 7 月～2025 年 6 月）以降の地域グループ活動費について現行の 1,500 円から 1,000 円へ変更することの提案があり、承認された。

2) 東京地域グループの今後の活動内容について

今後の東京地域グループの活動について、オンラインと対面それぞれの特性に応じた例会企画や、見学会の見学先候補など出席者を交えた意見交換を行った。

また、会員と運営委員会の意見交換の方法として、オンライン意見フォームの設置について検討した。

2. 報告事項

特になし

会費の振り込み忘れはありませんか？

大学図書館研究会の会計年度は 7 月～翌年 6 月です。2023/2024 年度の会費 6,500 円（会費 5,000 円＋東京地域グループ活動費 1,500 円）について、お振込みがまだの方がいらっしゃいましたら、大学図書館研究会ウェブサイトの案内に沿って会費のお振り込みください。ご協力くださいますようお願いいたします。詳しくは以下の Web ページの「会費に関すること」をご覧ください。

<https://www.daitoken.com/aboutus/contact.html>

なお、上記の臨時総会で決まったとおり、2024/2025 年度以降の会費は 6,000 円（会費 5,000 円＋東京地域グループ活動費 1,000 円）となります。お間違いのないよう、お気を付けください。

東京地域グループニュースレターの紙媒体の廃止について

運営効率化のため、2023/2024 年度をもって紙媒体のニュースレターの発行を廃止し、電子媒体のみの発行に変更します。ニュースレターを発行する都度、東京地域グループ ML でご連絡するとともに、東京地域グループ Web サイトで公開します。メールアドレスをお持ちでない方は、東京地域グループニュースレターの Web ページ、または Top ページのお知らせ欄をチェックしてください。

2023/2024 年度第 5～8 回（1 月～4 月）東京地域グループ運営委員会記録

下記のとおり、東京地域グループ運営委員会を開催しました。

第 5 回

日時：2024 年 1 月 23 日（火）20:00-21:00

議事：

1. 2023/2024 年度関東地域グループ合同例会について
2. 臨時総会について
3. 会報編集担当号について
4. その他

第 6 回

日時：2024 年 2 月 20 日（火）20:00-21:00

議事：

1. 2023/2024 年度関東地域グループ合同例会について
2. 臨時総会について
3. 会報編集担当号について
4. 次回例会企画について
5. その他

第 7 回

日時：2024 年 3 月 16 日（土）～20（水）

議事：

1. 2023/2024 年度関東地域グループ合同例会について
2. 臨時総会について
3. 会報編集担当号について
4. 次回例会企画について
5. ニュースレター262 号について
6. その他

第 8 回

日時：2024 年 4 月 16 日（火）20:00-21:00

議事：

1. 会報編集担当号について
2. 2023/2024 年度関東地域グループ合同例会について
3. ニュースレター261 号について
4. 地域グループ活動費の値下げについて
5. その他

東京地域グループ運営委員会の議事内容の詳細は、
東京地域グループ Web サイトにおいて公開しています。
<https://www.daitoken.com/tokyo/operation.html#committee>



『d-tokyo: 大学図書館研究会東京地域グループニュースレター』

第 262 号、2024 年 5 月

東京地域グループメールアドレス：tokyo@daitoken.com

編集：大学図書館研究会東京地域グループ運営委員会